

社会的認証報告書（科目認証制度）

（科目区分：「政策研究の基礎知識」）

科目名：公共政策	担当者：山本 真一
科目グループ：なし	

※科目区分が「政策得意分野づくり」の場合に記載されます。

基準項目	評価要素	コメント・評価	評価
基準 1-1	・ 科目を設置する目的として、明確な教育目標と育成する人材像を説明しているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムを踏まえた具体的な教育目標、人材像が説明されていることを確認した。	A
	・ 当機構が定める学習アウトカムの定義から、学習アウトカムの定義が定められているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムの定義から学習アウトカムが設定されていることを確認した。	A
基準 2-1	・ 学習アウトカム達成の視点から科目で実施する教育内容について説明されているか。	科目説明書より、公共政策を捉えるための基礎理論や公共政策が直面する政策課題への対応を学びながら、政策を通じて課題解決を考えていく教育内容であることを確認し、学習アウトカムを踏まえた具体的な説明されていることを確認した。	A
	<p>・ 教育要素の科目要件に沿って具体的な教育内容が説明されているか（基準 2-2 の科目内容と合わせて評価する）。</p> <p>・ 科目別の評価要素</p> <p>教育内容に関する評価目安として、教育要素に基づく科目要件の確認項目のうち、1 項目の欠損で指摘事項、2 項目の欠損で改善勧告、3 項目の欠損で保留とする。</p> <p>・ 地域政策について触れているか。</p> <p>・ A：対象とする科目内容における公共政策の歴史、理論史の概論、公共哲学、政策倫理などの政策に関する基礎的理解について解説しているか。</p> <p>・ B：対象とする科目内容における政策分析、事例分析、政策実施過程分析、社会調査法などの政策分析方法について解説しているか。</p> <p>・ C：対象とする科目内容における公共選択、意思決定、マクロ・ミクロ分析、組織論、政策過程論などの政策過程モデルについて解説しているか。</p> <p>・ A、B、Cいずれか 1 つ以上の内容をふまえ、講義時間において上記の要素について 2/3 以上が上記内容についてふれている科目か。</p> <p>・ 学習アウトカム評価に関する設問が適切に設定されているか。</p>	「政策研究の基礎知識」の教育要素に対して、地域政策に触れながら、公共政策を捉えるための基礎概念を解説し、また、様々な政策課題にふれながら政策分析、政策実施過程など政策分析方法について解説していることを確認した。また、地域政策に関する視点も多く取り入れており、政策研究の基盤的知識にふさわしい科目内容となっている。また、講義内容についても 2/3 以上が教育要素に該当する内容であり、教育要素に沿った教育時間が確保されていることを確認した。	A

基準 2-2	・ 科目の教育内容について、時系列にそった説明ができていますか。	科目説明書及び添付資料より、科目の教育内容について、時系列に沿った説明がされていることを確認した。	A
	・ 科目の教育内容を踏まえて、学習アウトカムの自己評価に関する設問が適切に作成されているか。	科目に設定した学習アウトカムと科目内容を踏まえた具体的な設問が設定されていることを確認した。	A
基準 2-3	・ 学習アウトカムの達成という視点から授業形式について説明されているか。	科目説明書及び添付資料より、これまでに確認した科目内容に対応した講義形式が説明されていることを確認した。	A
	・ 授業形式と科目担当者の資質が説明されているか。	科目説明書及び基礎データより、講義内容と科目担当者の専門性が一致していることを確認した。 なお、基礎データについては認証済の初級プログラムの提出データより確認した。	A
基準 2-4	・ 対象とする学習者が想定されているか。	科目説明書及び添付資料（資料①）より、科目の対象者を明確に定めていることを確認した。	A
	・ 想定した学習者に対応した開講形態がとられているか。	科目説明書及び添付資料（資料①）より、上記の対象者に対応した開講形態がとられていることを確認した。	A
	・ 学習者が科目を受講する手続きについて説明がされているか。	科目説明書より、科目受講者の登録方法などの手続きが定められていることを確認した。 なお、大学コンソーシアム京都ホームページより単位互換性における登録方法や手続きについてもあわせて確認した。	A
基準 3-1	・ 成績評価の基準と方法を定めているか。	科目説明書及び添付資料（資料①）より、成績評価の基準と方法が定められていることを確認した。	A
	・ 成績評価の基準と方法を明文化して学習者に周知する方法が定められているか。	添付資料シラバスに、成績評価方法が明示され周知されていることを確認した。	A
	・ 成績証明書等の発行方法が定められているか。	科目説明書より成績証明者の発行方法が定められていることを確認した。 なお、成績証明書の発行方法について、認証済の初級プログラムの提出データについてもあわせて確認した。	A
基準 3-2	・ 異議申立の仕組みが明文化されているか。	科目説明書及び添付資料（資料②・③）より、異議申し立てのしくみを明文化していることを確認した。 なお、異議申し立てのしくみについて認証済の初級プログラムの提出データについてもあわせて確認した。	A
	・ 異議申立の制度は、公正な判断を保証できる仕組みとなっているか。	科目説明書及びより確認した異議申し立てのしくみは、第三者性を確保しており公正な判断を担保したしくみであることを確認した。 なお、異議申し立てのしくみについて認証済の初級プログラムの提出データについてもあわせて確認した。	A
基準 4-1	・ 科目を継続的に管理・運営する体制が整えられているか。 ・ 管理・運営する体制の中で、科目を点検し、改善する仕組みが説明されているか。	科目説明書より、京都文教大学総合社会学部にて科目を運用し、改善をはかっていく仕組みであることを確認した。	A

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。

認証結果

評価結果	適合
認証期間	2018年4月1日～2025年3月31日
科目認証番号	K180006
指摘事項	
勧告事項	
評価すべき点	
助言・課題	

以上